

1期

1984(昭和59)年
9月6日～16日

シンガポール共和国
インドネシア共和国
マレーシア
タイ王国

団 長

宮里 悦

副 団 長

新垣 博子

事務局 長

大浜 貞子

団 員

宮平 叶子

玉城 幼子

国吉司図子

宮城 節子

中村 文子

沢岬 悦子

中村 よね

小島 葉子

船越 ふみ

松田 敬子

下里 信子

森田 清子

安里千恵子

小渡ハル子

真境名 光

大城貴代子

大山 トヨ

古謝フミ子

参 与

西表 孫称

(22人)

研 修 内 容

シンガポール

シンガポール：シンガポール婦人協議会(YWCA)との交流・夕食会
バードパークとチャイニーズガーデン見学

インドネシア

ジャカルタ：婦人問題担当大臣表敬訪問
ジョグジャカルタ：ポロブドール遺跡見学
バリ島：バリ博物館、舞踊学校訪問、小学校訪問など

マレーシア

クアラルンプール：マレーシア婦人協議会訪問、および夕食交流、独立記念館など見学

タイ

バンコク：タイ国社会福祉協議会訪問、女性大臣らとの交流夕食会



バンコク観光 エメラルド寺院

研修後の活動及び団員の親睦、交流

今後取り組みたいこと

団員22名の現況は、お互いに連絡を取りあい年一回新春の集いで近況を報告し親睦を深めている。元気なメンバーは翼の1期生としてこれまでも会活動に協力してきた。私たちに出来ることは当時のことを語り継ぎ、若い会員の活動に協力することと考える。

年1回の集まり“新春の集い”



ロワジールホテル



沖縄都ホテル



マレーシア婦人協議会訪問



ジャカルタ婦人問題担当大臣訪問



バリコカール舞踊学校訪問



楚辺の浜



読谷村観光協会の
案内で村内観光

残波岬にて

カンボウのクエ ヌク
艦砲又喰一残サーの
記念碑近く



シンガポール婦人協議会との交流会

表 彰 者

玉城 幼子 2002年
国務大臣経済政策担当大臣表彰

研修後の活動

新垣 博子 (元琉球大学教授)

昨年カジマヤーのお祝いをしてもらい、元気に暮らしている。

宮平 叶子 (元県少年婦人課主査)

「女性の翼の会」結成に関わる。退職後は浦添市ハーモニーセンター所長、女性の翼の会会長を歴任。2012年“ていあるパートナーズ”を設立。

安里千恵子 (元生活改善グループ研究会長)

多年にわたり地域で奉仕活動や募金活動を続け、民生委員共同募金表彰を受賞。

松田 敬子 (元県婦人連合会理事)

地産地消で健康作り活動。座喜味紅の里「まるみの」会で朝市を10年続ける。

中村 よね (元キリスト教短大講師)

税理士。郡山市フロンティア大使(福島県)。

真境名 光 (弁護士)

弁護士。「沖縄女性9条を守る会」の共同代表。

宮城 節子 (元琉球大学教授)

会員仲間との年1回の集まりが楽しみ。

古謝フミ子 (元看護協会会長)

退職後は地域のボランティア活動。現在県立看護大学同窓会会長。

大城貴代子 (元県労協婦人部長)

「失語症友の会」を立ち上げ事務局長を担う。女性史「煌めいて女性たち」出版、現在「那覇市女性の翼の会」会長、「県女団協」会長。



インドネシア

2期

1985(昭和60)年
9月13日～23日

シンガポール共和国
インドネシア共和国
マレーシア
タイ王国

団 長

徳田 滄

副 団 長

中村田恵子

団 員

伊波 圭子

真喜屋光子

桑江テル子

津波古米子

渡名喜藤子

赤嶺 光子

平敷りつ子

松堂 豊子

高良 弘子

中山 房子

兼次美津江

渡名喜秀子

安里 要江

石川ヨシ子

平田千恵子

河野 ノブ

(18人)

研 修 内 容

- シンガポール シンガポール:シンガポール婦人協議会(YWCA)訪問
- インドネシア ジャカルタ:インドネシア婦人連盟訪問、バリ島観光
- マレーシア クアラルンプール:マレーシア婦人団体協議会訪問、
バツーシ洞窟観光
- タイ バンコク:タイ国社会福祉協議会訪問、売春婦更生施設訪問

訪問した1985年は国連婦人の10年最終年。日本は女子差別撤廃条約の批准に向け
国籍法は父母両系主義へ、労働法は「男女雇用機会均等法」の制定へと変化していた。
この年アフリカ・ケニアの首都ナイロビで開かれた世界婦人会議に沖縄から25人
余の参加(7月)。女性の社会進出が進み東京では土井たか子社会党委員長が誕生。



交流をさらに深めより大きな研修成果をと決意して

訪問した4か国は小国だが経済発展してゆとりが感じられる国、貧困ゆえの苦労が女性や子
どもたちにおいかぶさる国、女性の社会進出が日本よりも進んでいる国、様々であった。



マレーシア

マレーシアには、ゴムの
木をはじめ珍しい植物が
多かった。



タイ

タイの歓迎会では現地の
人が芭蕉布の歌を歌って
くれた。



インドネシア



バリ島では造花で歓迎を受ける



ジャカルタでコワニ*という女性団体との交流会



ジャカルタの交流会では浴衣で踊った



シンガポールはちょうど旧盆のウークイの日みんなでウートート

シンガポール

帰国後の団員の活躍

- 文筆活動
- 地域福祉活動
- 地域での女性の地位向上の支援
- 経済界の起業家
- 市議、県議会議員
- 母子寡婦福祉支援

研修後の状況と今後に望むこと

2期は研修後、「コワニ会」という愛称で毎月1回模合を開いて
交流してきた。当初はほぼ全員が集まり、情報交換の場として
有益な会合だった。しかし次第に定期的な集まりを持つことは
難しくなった。

メンバーはこれまで平和運動、文筆活動、地域の福祉活動や
企業で頑張ってきた。今なお現役で頑張っている者もいる。

今後は“男女が平等に社会参画、及び家庭での男女平等が
実現できるよう”若い人たちの背中を押していきたいと願っ
ている。

* KOWANI(コワニ インドネシア女性団体連絡協議会)
インドネシア語で女性という意味でジャカルタの婦人団体の名前
でもある。



20周年記念時に集合した写真

3期

1986(昭和61)年
10月24日～11月3日

タイ王国
インドネシア共和国
マレーシア
シンガポール共和国

団 長

赤嶺 千壽

副 団 長

浦崎 修子

事務局長

翁長 孝枝

団 員

高良 房子

天野美智子

赤嶺 静子

天久 節

仲井間文子

塩川 信子

高良 政子

高山 佳子

仲宗根和子

備瀬 信子

崎浜喜久江

大城 信子

仲田 芳枝

(16人)

研 修 内 容

タイ

タイ国社会福祉協議会、身体障がい施設、
バンコク総合病院、タイ国職業婦人協会、
セントジョージ大学(私立)、婦人更生施設

マレーシア

マレーシア全国婦人団体協議会、
国家婦人団体法律相談室、マレーシア大学病院

インドネシア

ジャカルタ：インドネシア婦人協会、
移動福祉施設協会本部、婦人問題担当大臣表敬訪問

シンガポール

シンガポール：シンガポール婦人連合会(YWCA)、
シンガポール婦人相談所、シンガポール総合病院

国連婦人の10年が終った翌年の「女性の翼」研修であった。女性の地位向上に各国がどのように取り組んでいるかを学ぶことが目的であった。

・発展途上にあるアセアン諸国では各種婦人団体協議会や青年団体に対し補助金を交付し国の発展に寄与する団体の育成に力を入れていた。

・それぞれの団体が地域活動に力を入れて取り組んでいることを目のあたりにし、感動した。

・インドネシアの女性大臣との懇談の機会を持つことができ、政策決定の場への女性の進出に勇気づけられた。

・交流会ではデザイナーの仲井間文子団員が持参した沖縄の染と織を活かしたファッションショーを披露して賞賛された。



いよいよ出発の日、
西銘県知事(当時)
の見送りを受ける



インドネシア



インドネシア女性大臣
と懇談—女性の地位向上に力を尽くしている

タイ



美しい建物に仏教文化が息づくタイ国寺院



タイ国社会福祉協議会との懇談

シンガポール



シンガポールの緑豊かな景観は政府と国民の協力の賜

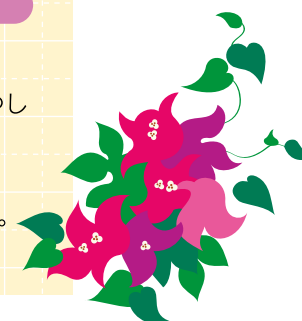
マレーシア



仲井間団員の持参した「沖縄の染めと織」のミニファッションショーで好評を受ける

研修後の活動

- ・赤嶺千壽は18年間沖婦連会長をつとめ女性リーダーとして活躍。
- ・仲井間文子 はかりゆしデザイン事業協同組合理事長をつとめ「かりゆしウエア」普及に貢献。
- ・翁長孝枝は元県教育委員長、沖縄女子短大で女性学を担当。
- ・備瀬信子は27カ国の研修生を受け入れ医療看護、環境衛生を担当する。
- ・赤嶺静子は商工会婦人部長、国際ソロプチミスト沖縄会長。



4期

1987(昭和62)年
7月6日～16日

タイ王国
インドネシア共和国
シンガポール共和国

団 長

金城 幸子

副団長

宮城 幸子

事務局長

国吉 清子

団 員

慶田城照子

安次嶺美代子

島尻 貞子

嘉手川千恵子

金城 清子

大城 サク

小谷 弘子

古謝 悦子

新垣 隆子

瑞慶覧カツ

仲高トキ子

長嶺 照子

参 与

名幸 宏明

(16人)

研 修 内 容

- タイ バンコク:ドゥアン・プラティーブ財団*、婦人更生施設訪問
- インドネシア ジャカルタ:KOWANI(コワニ)、PKK(ボランティア団体)、両婦人団体訪問
- シンガポール シンガポール:日本人学校訪問



インドネシア、バリ島にて



エリート養成、シンガポール国立大学
国をリードする人材を育む

シンガポール



教育・文化・平和は何より
大切。それを担う人材の
輩出もまず教育から



タイのバンコク空港にて県出身の湧上和夫氏による歓迎式

タイ



インドネシア



PKK、KOWANI両婦人団体との交流会



インドネシアバリ島の子どもたちの笑顔



タイ水上店舗 やはり主役は女性



ドゥアン・プラティーブ幼稚園訪問。子ども
たちは未来をつなぐ大切な宝

*ドゥアン・プラティーブ財団
バンコクのスラム街にある施設で、プラ
ティーブ女史が創設。経済的に恵まれない
子どもたちのため、幼稚園、給食事業を行っ
たり、教育里親制度を行う。

現 況

「沖縄県女性の翼の会」はいち早く海外研修を
アジアに目を向け活動を始めた。

私たち4期の団員はタイ、シンガポール、イン
ドネシアへ研修の旅へ出発した。その頃に比べ
ると私たちを取り巻く社会環境は国際化情報化
が急速に変化し女性の果たす役割はとても重要
になっている。今、アジアはあらゆる意味におい
てホスピタリティ産業の中心になっている。

最近の沖縄観光も外国、特にアジアからの訪
問者の増加は想像を超えるものがある。

沖縄の特有なカルチャーは同じアジアの人々
との共通点が多く沖縄の心を伝える“おもてな
し”をとおして交流を深めたい。そしてこれから
も「沖縄県女性の翼の会」の果たす役割は大きく
活躍を期待したい。

5期

1988(昭和63)年
10月1日～11日

タイ王国
マレーシア
インドネシア共和国

団 長
眞壁 カツ
副 団 長
岸本マチ子
事務局長
富山 光枝
団 員
北城 睦美
佐和田幸子
玉城 芳枝
上運天綾子
宮城 秀子
稲福 昭子
内里 栄子
下地 洋子
石原 光子
伊是名初子
山城ヨシエ
安里 淑子
参 与
眞栄平義巳
(16人)

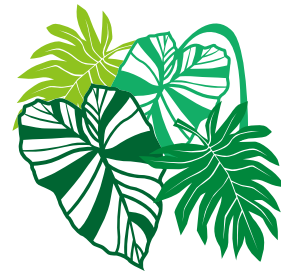
研 修 内 容

- タイ バンコク
ドゥアン・プラティープ財団、身体障がい者施設、
婦人更生施設訪問
- マレーシア バリ島、ジャカルタ
KOWANI、PKK両婦人団体訪問
- インドネシア クアラルンプール
アキーブネカラ国立資料館参観、NCWOとの交歓会

アセアンの旅で私達が得たもの

タイ

メナム川には多くの水上マーケットが立ち並ぶ。
はじめに首相官邸を訪問、タイシルクのスカーフをお土産に頂く。
「微笑みの国」といわれているタイだが、もう一つの側面スラムがある。そんな中、プラ
ティープ財団は、急速な近代化から取り残された子どもたち、出生証明書もなく、親以上に
不幸な生き方を強いられている子どもたちに支援を行っている。小学校への給食援助、移
動学習、など活発に活動している。なかでも教育里親制度は素晴らしかった。



建物の美しさに人々の心を重ねて…(エメラルド寺院前)



プラティープ財団の施設の子どもたちと



タイ



ドゥアン・プラティープ財団の建物の前で

インドネシア

女性大臣の活躍ぶりは目を見張るものがあった。半面交通の混
雑、物売りの状況などを見るにつけ、経済、環境衛生上の問題を
感じた。



インドネシア婦人団体との意見交換



インドネシアとウチナーの歌声が溶け合って…心も一つになる

マレーシア

地震と台風がないところといわれ恵まれていると感じた。
また、医師が婦人団体のリーダーになっていることに驚いた。



医師で婦人団体リーダーの女性(左から三人目)

研修後の活動・交流・感想

眞壁 カツ インドネシアには「女性担当大臣」
という役職があり女性への職業指導、子どもの
教育について計画・実践している。微笑の国タ
イ、多民族国家のマレーシア、環境の整備された
美しい町並みのシンガポール。人の心の美しさ、
友情こそ宝を実感した旅はそれ以降の人生を心
豊かにしている。

玉城 芳枝 「教育里親」として4人の子を援助
伊是名初子 看護師として長年活躍
富山 光枝 老人福祉で活躍
内里 栄子 地域婦人活動
稲福 昭子 保育関係活動
石原 光子 生活改善事業
北城 睦美 学校給食向上に尽力
佐和田幸子 民生委員

赤十字奉仕団でボランティア
伊是名初子 タイ山岳地帯の貧困生活の子ども
たちを見て以来、前向きなそして奉仕の心の大切
さを感じた。

